

検討会の成果報告

- 第1回・・・活動の活性化について
- 第2回・・・活動を前進させるための方策
- 第3回・・・第2回の継続
- 第4回・・・整理された課題の評価と検証
- 第5回・・・検討会の成果報告

2006/8/26

日本ビोटープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

1

検討会とメール参加の集計

第4回検討会とメール参加による得票数と評価(A=2点/B=1点/C=1点/D=0点)

議題	得票数				判定	順位
	A	B	C	D		
1. 立場や利害による様々な歪曲の解消	2	2	1	0	11	A
2. 公共空間のマナーやモラルの向上	2	0	1	0	7	C
3. 便利さ優先からの脱却、ライフスタイルの転換	2	0	2	1	8	C
4. 良いものや楽しさを知るための知識	1	0	2	0	5	C
5. ビोटープを理解してもらう場づくり	3	0	5	0	14	A
6. 学校教育における環境教育の充実	3	2	0	0	13	A
7. 関心の第一歩として知ることの大切さの理解	2	1	1	0	9	B
8. 効果的な活動や教育のあり方	0	0	3	0	3	D
9. 指導者や行政の知識不足や格差の解消	3	0	1	0	10	A
10. 産業界への啓発	1	0	2	0	5	C
11. 関心のない人に伝える手段	3	0	1	1	10	A
12. 参加の動機付けや意欲の持続と向上の手段や手法	0	0	2	1	2	D
13. 地域活動における専門家の参画や支援のあり方	1	1	1	0	6	C
14. 維持管理や保全のための予算確保や仕組みづくり	1	3	0	0	9	B
15. 需要と供給、場所と人、人と人をつなぐ仕組みづくり	0	2	1	1	5	D
16. 歩いていける身近な場所に自然とのふれあい場確保	0	0	2	1	2	D
17. 環境関連のワンストップサービスのシステム構築	0	1	0	2	2	D
18. 環境情報、場所、人、団体及びニーズの把握	0	1	2	0	4	D

2006/8/26

日本ビोटープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

2

課題と対応策

(課題)

(対応策)

ビोटープを理解してもらう場づくり / 維持管理や保全のための予算確保や仕組みづくり	意見交換や交流会の開催 (交流・参画・連携事業)
学校教育における環境教育の充実 / 地域活動における専門家の参画や支援のあり方	学校や地域活動の支援 (整備と管理支援事業)
立場や利害による様々な歪曲の解消 / 指導者や行政の知識不足や格差の解消	わかりやすい指針の作成 (調査・研究・研修事業)
関心のない人に伝える手段 / 産業界への啓発	ビोटープに関する情報発信 (環境教育等啓発事業)
関心の第一歩として知ることの大切さの理解 / 良いものや楽しさを知るための知識	事例収集とデータベース化 (生物多様性保全事業)
便利さ優先からの脱却、ライフスタイルの転換 / 公共空間のマナーやモラルの向上	環境教育・学習の開催 (環境教育等啓発事業)

2006/8/26

日本ビोटープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

3

目標の明確化(使命と達成目標)

1. 使命

ビोटープの大切さを「伝え」、理解者を「増やし」、知見を「深め」、自らが「動き」、心豊かな人を「育てる」こと。

2. 達成目標

ビोटープの大切さが理解され、あらゆる活動の場において、自然環境への配慮が当たり前となり、将来世代に豊かな自然の恵みと身近な自然を残すことができる。即ち、「自然と人の共生・共存が成立した徳島県」を望み、将来像として掲げ、長期目標とする。

3. 徳島支部の将来像

- (1) ビोटープに関する質問に誰でも答えられる専門的な組織
- (2) 目に見える自然だけでなく目に見えない様々な関わりが伝えられる組織
- (3) 専門知識(書物の知識)だけに偏らず現場(実際の体験)も知っている組織
- (4) ビोटープに関する政策提言や各種委員会に参加できる組織
- (5) 企業や学校及び団体職員などにビोटープに関する研修の講師派遣ができる組織
- (6) 科学者や技術者などの専門家と一般者あるいは自然と人間との通訳ができる組織

ビोटープの通訳者として、現場体験を持ち、様々な関わりを伝え、参画や提言を行い、未来を担う人材を育成し、以て、持続可能な社会の発展に寄与する組織。

2006/8/26

日本ビोटープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

4

現状の問題点と課題(評価・検証)

ランクA (重要性:大 / 緊急性:大)

5. ビोटープを理解してもらう場づくり / 6. 学校教育における環境教育の充実 / 1. 立場や利害による様々な歪曲の解消 / 9. 指導者や行政の知識不足や格差の解消 / 11. 関心のない人に伝える手段

ランクB (重要性:小 / 緊急性:大)

7. 関心の第一歩として知ることの大切さの理解 / 14. 維持管理や保全のための予算確保や仕組みづくり

ランクC (重要性:大 / 緊急性:小)

3. 便利さ優先からの脱却、ライフスタイルの転換 / 2. 公共空間のマナーやモラルの向上 / 13. 地域活動における専門家の参画や支援のあり方 / 10. 産業界への啓発 / 4. 良いものや楽しさを知るための知識

ランクD (重要性:小 / 緊急性:小)

15. 需要と供給、場所と人、人と人をつなぐ仕組みづくり / 18. 環境情報、場所、人、団体及びニーズの把握 / 8. 効果的な活動や教育のあり方 / 17. 環境関連のワンストップサービスのシステム構築 / 16. 歩いていける身近な場所に自然とのふれあい場確保 / 12. 参加の動機付けや意欲の持続と向上の手段や手法

2006/8/26

日本ビोटープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

5

対応策と具体的取組

内の番号は、得点順位を表す

1. 意見交換や交流会の開催 (ビोटープ・サロンの運営)

ビोटープを理解してもらう場づくり / 維持管理や保全のための仕組みづくり

2. 学校や地域活動の支援 (ビोटープ・サポートの実践)

学校教育における環境教育の充実 / 地域活動における専門家の参画と支援

3. わかりやすい指針(Q&A)の作成 (ビोटープ・ナビの発行)

立場や利害による様々な歪曲の解消 / 指導者や行政の知識不足や格差の解消

4. ビोटープに関する情報発信 (ビोटープ・ニュースの発行)

関心のない人に伝える手段 / 産業界への啓発

5. 事例収集とデータベース化 (ビोटープ・カルテの作成)

関心の第一歩として知ることの大切さの理解 / 良いものや楽しさを知るための知識

6. 環境教育・学習の開催 (ビोटープ・セミナーの開催)

便利さ優先からの脱却、ライフスタイルの転換 / 公共空間のマナーやモラルの向上

2006/8/26

日本ビोटープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

6

1. ビオトープ・サロンの運営

交流・参画・連携事業

目標:環境保全活動の人材ネットワーク構築。

- 内容: 1) 実践者同士の交流の場とし定期的に開催。
2) 現行の定例会を発展的に進化させる。
3) 回毎に話題を募集し事務局が調整する。
4) 開催日は月や曜日を固定し定着を図る。
5) 自然環境系の保全活動団体に参加要請。

効果:環境保全活動の連携促進につながる。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

7

2. ビオトープ・サポートの実践

整備と管理支援事業

目標:環境保全活動現場での実践的活動。

- 内容: 1) 公共・地域・学校等ビオトープの実践支援。
2) 計画・調査・設計・施工・活用・維持・検証。
3) あなたの町のビオトープ管理士の発展形。
4) 単発・受動的でなく継続・能動的に支援。
5) 自然環境系の保全活動団体に連携要請。

効果:学校ビオトープ等地域活動の支援につながる。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

8

3. 「ビオトープ・ナビ」の発行

調査・研究・研修事業

目標:善意の誤解による自然生態系破壊の抑止。

- 内容: 1) 保全活動に関わるビオトープの基礎知識。
2) Q&A方式で図解やイラストも。
3) 対象は徳島県民とする。
4) 実用的なガイドブック(冊子)とする。
5) (財)日本生態系協会に監修依頼。

効果:調査・研究・研修等、人材育成につながる。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

9

4. ビオトープ・ニュースの発行

環境教育等啓発事業

目標:誤解による環境保全活動の蔓延防止。

- 内容: 1) ビオトープに関する正しい情報を発信。
2) 地域の環境保全活動団体にD.M.送付。
3) コラムやQ&Aコーナーを常設する。
4) 全員が記者となり担当者が編集・発行する。
5) (特)徳島共生塾一步会に協力依頼。

効果:効率・効果的な普及啓発につながる。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

10

5. ビオトープ・カルテの作成

生物多様性保全事業

目標:ビオトープネットワークの質的改善。

- 内容: 1) 地域活動・学校活動・公共事業等に区分。
2) チェックリストとカルテの様式作成。
3) ビオトープに関する活動を調査・分析する。
4) 問題点と改善策を提案する。
5) (特)徳島保全生物学研究会に協力依頼。

効果:生物多様性の保全と回復につながる。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

11

6. ビオトープ・セミナーの開催

環境教育等啓発事業

目標:ビオトープ保全のための知識・態度・技能の習得。

- 内容: 1) 年間6講座程度のカリキュラム作成。
2) 年度初頭(7月)に参加者募集の連続講座。
3) 短期集中とし2回/月で3ヶ月間を目安。
4) 年を追ってホップ・ステップ・ジャンプと発展。
5) 会員の専門性と徳島支部の個性を活かす。

効果:正しい環境保全活動の普及啓発につながる。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
検討会の成果報告

12